

2009 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	学科	社会学研究科
担当科目	質的調査法		

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

仕事の内容は、主に授業のとき使う資料を先生からメールで送っていただき、前もってプリントアウトし、学生人数分コピーしておきました。そして、授業の日になると、コピーした資料を学生たちに配付しました。また、コメント用紙を配りましたが、遅刻した学生には記がつけているコメント用紙を配って、区別をつけました。

気づいたこと：最初は授業が始まって、先生の指示があってから、資料を配り始めましたが、そうすると、授業の時間が無駄になることに気づいて、後からは、授業が始まる前にもう教室に来て座っている学生たちには資料を配付し、後で来た学生たちには、扉の近い席に座って、入ってくる学生たちに一人ずつすぐ渡す方法を取りました。

感想：先生の立場になって、学生たちのことを考えるようになりました。また、先生になっているお気持ちを読めることができました。最後の授業にみんなが提出したレポートを読んで、今の学部生たちのものの考え方について触れるようになりました。同じ質的調査法という授業を取っていても、様々なインタビューができ、その中からいろんな面白みを生み出すレポートが出てきて、一人一人の才能に感服しました。

チューターの業務を通して、小さいことでも気を配り、工夫を凝らして最善を尽くそうとすれば、もっとうまくなることをしみじみ感じました。

<今後のチューターまたは先生への提案>

今後も続けてチューターをやりたいです。学生の立場と先生の立場の間のポジションに立って、周りを見回りながらうまくチューターをやっていきたいと思います。

先生にはもっと助かるように、学生たちにはもっと必要な存在になるようにがんばって行きたいと思います。